あんぜんプロジェクト 「見える」安全活動コンクール

安全通路の見える化



•安全通路における、人の出入りがある場所には 黄色旗による運転手への明示

溶接作業安全対策



溶接の光線を遮光板を使って作業員及び、一般道からの第三者を保護

失念防止対策



死角に対する安全策



◆カラー液晶バックモニター完備し、後方の視界を確保

月例点検の見える化



・工事機械の月例点検の実施確認が出来る様、点検実施報告シールを機械に貼り付け

職務記憶に対する見える化

自衛消防隊



職務

- ① 類焼の防止
- 2 非常持出の搬出移動
- ③ 消火避難経路の確保

自衛消防隊



職務

- ① 出火場所から事務所へ連絡
- ② 避難誘導

入場ゲート基本ルールの見える化



場入退場交通ルール

粥大林組 新名神高槻JCT工事事務所





右折入場

交差点に近づいたら早めに 右ウインカーを出す。

ガードマンの停止、進入サイン

進行の合図が出たら横断歩道 の一般者を確認して進入。

般者が優先のため、無理な進 入はしない。

左折入場

交差点に近づいたら早めに 左ウインカーを出す。

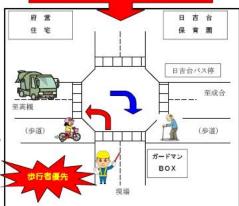
後続走行車両(二輪車等の巻き 込み確認をする) の確認をす る。(一般者を優先する)

安全速度(徐行)にて進入する。

関係者以外の車両は一旦停止 させ、「行き先、業者名」を確

不明業者はインターホンで事 務所に連絡し、確認する。(車 両は入場させない)





左折退場

退場車両は停止線にて一旦停止、早 めにウインカーを出し、意思表示を する。(車両看板を借りている場合 は速やかに返却する)

警備員は日吉地区方面からの車両 を原則優先する。

通行車両が落ち着いたら、場内車両 に交差点進入合図に従い、進行す る。(無理に交差点に進入しない、

交差点手前で運転者はもう一度、左 右の確認をして、退場する。

退場後も、現場の曹板を付けている ので、模類のなる運転を心掛けるこ





















基本ルールの見える化



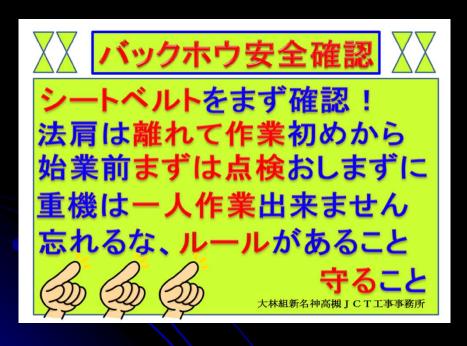
基本ルールの見える化



基本ルールの見える化



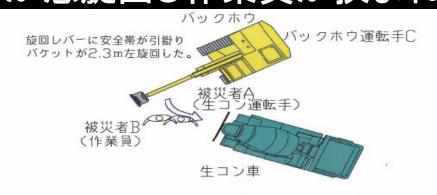
•バックホウ作業中に機械が転落して、作業員が投げ出 された事故に対して





・注意喚起やオリジナル安全5を作成し、キャビンの見や すい場所に掲示。意識向上に努める。

・バックホウ運転者の安全帯がレバーに引っ掛かり機械が急旋回し作業員が挟まれた事例について





安全带着用禁止







キャビン内にオリジナル ステッカーを張り付け

•注意喚起やオリジナル安全5を作成し、キャビンの見や すい場所に掲示。意識向上に努める。

<u>・重機運転中の携帯電話使用に対する誤操作防止</u>





キャビン内にオリジナルステッカーを張り付け

•主要箇所に禁止事項のモデル写真を掲示し、意識レベルでの習慣付けを行う。

法肩の見える化





•スロープの法肩には、注意喚起看板を設置し、常に意識して作業を行なう。

- 架空線等を重機で引っかける事故に対して



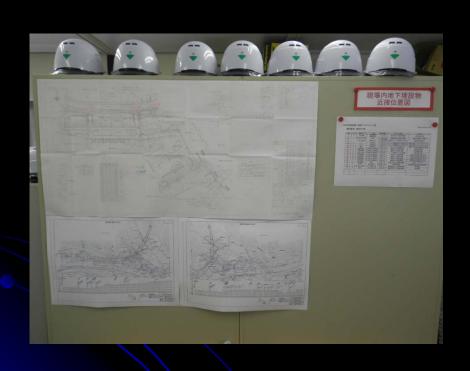


•架空線表示と現地ATKY用紙に架空線の有無を表示する欄を追加し、当日の朝に再確認を行う。





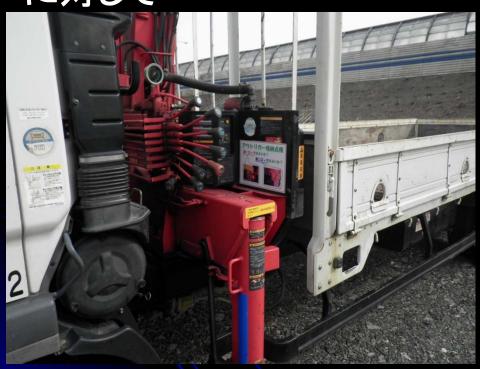
●既設の埋設物には、現場で色分けしたペイントを施し、 経年劣化してしまう失念を防止。





•会議室等に埋設物の図面を掲示し、近接工事を行う場合は、関係者全員を集め、図面で場所を再確認。

・ユニック車が走行中にアウトリガーが飛び出した事故 に対して





運転レバー部に確認用 <u>ボード</u>を張り付け

ユニック運転手が常に視界に入る場所に確認ボードを 設け、再度確認がとれる状況を実施。

安全通路の見える化



●安全通路が途切れる場所には、ペイントを施し、通路 管理を行う。

習慣業務の失念防止対策の見える化



ラフタークレーンのアウトリガー抜け止めピンの設置失念防止

有資格者の見える化





オリジナルの十字ステッカーをヘルメットに 貼りつけ、有資格を識別

後進時の見える化



大型車両には、誘導員を配置し、バックすることを徹底づける

安全意識向上推進者



特注ベストを着用し、要所に専任者を配置して、声掛けを実施

新規入場者の見える化



新規入場者には、特注緑メッシュのヘルメットカバーを着用させる。

禁止事項の見える化



誤操作による重機災害を未然に防止するため、引っ掛かる服装で操縦しない